



深江中学校だより

令和5年7月20日

第6号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

長崎っ子の心を見つめる教育週間

本校では、7月3日(月)～9日(日)までの1週間を設定し、校長講話や道徳授業、学年・学級PTA等を実施しました。9日に実施予定だった「ブループロジェクト」は、残念ながら雨のため9月以降に延期となりましたが、期間中、多くの方にご来校いただきました。コロナが収まってきたこともあって、たくさんの地域の方々にも足を運んでいただきました。「生徒はよく挨拶をしますね。」「みんな落ち着いて授業を受けてますね。」「先生方の授業もよく工夫されてますね。」など、お褒めの言葉もいただきました。保護者の皆様、地域の皆様、ご来校いただき誠にありがとうございました。

1学期終了…

本日で1学期が終了し、21日から42日間の夏休みに入ります。本日の1学期終業式では、生徒へ以下のような話をしました。(一部抜粋)

おそらくあつという間に2学期を迎えることになる、そんな長いようで短い夏休みを、みなさんにとって成長の機会とし、実りある2学期へとつなげるため、大切なことについて話をします。

いつもは、2つ3つほど大切なことを話しますが、今回は1つだけです。その1つとは「人が嫌がることを進んでする」ということです。「人が嫌がること」とは、「人からされて嫌に感じること」という意味ではなく、できればしたくないこと、多くの人は好んでしないこと、避けておりたいこと、面倒くさいこと、きついこと、苦手なこと、我慢が生じること、しなければならないことは分かっているも何らかの理由をつけてやりたくないと感じること、などのことで、そういうことを進んでできるようになって欲しいのです。

今年の4月、こういうことがありました。朝、出勤のため車で体育館前の駐車場に入った時、駐車場の一角に白いマスクが落ちていたのが見えました。車を止め、校長室に荷物を置き、少し仕事の準備をしてから、挨拶運動とゴミ拾いのため体育館方面に向かうと、マスクはもう落ちていませんでした。おそらく、約10分位の間に、誰かが拾ってくれたのだと思います。皆さんのうちの誰かかもしれません、先生かかもしれません、保護者の方かもしれません、おそらく誰かが「人が嫌がることを進んで」してくれた結果だろうと思い、とても嬉しく感じました。

(途中省略)

夏休み中は、宿題、家庭学習、部活動、駅伝練習、手伝いなど、少し嫌だなと感じることがあると思います。2学期に入れば、人がやりたがらない活動や役割があるかもしれません。少しでも「嫌だな」と感じた時は、このことを思い出して、進んでできるようになって欲しいと思います。

家庭で過ごす時間が多くなる夏休み。夏休み期間中の家庭での過ごし方等(家庭学習の仕方、手伝いの仕方、スマホやゲームの使い方など…)について、より有意義な夏休みとなるよう、事前にお子さんと確認されることをお勧めします。

ペーパーティーチャーについて

「ペーパーティーチャー」…あまり耳慣れない言葉だと思いますが、最近教育界ではよく用いられています。ペーパードライバーをイメージしていただければ想像が付きやすいと思います。ペーパーティーチャーとは、「教員免許を有しながら教職に就いていない人」を表す呼び方です。近年、全国的に『教員不足』の実態があり、まさに「猫の手も借りたい」状況です。本県も同様で、教員不足の問題は危機的状況とまで言われています。そこで、長崎県教育委員会が、教員不足解消の一助を目的として、別紙のとおり「ペーパーティーチャーセミナー」を開催します。保護者、地域の方はもちろん、親戚、知り合いの方にもご紹介いただき、該当の方や興味がおありの方は、ぜひご参加ください。